

1 はじめに 【熊本博物館と学校：より一層の連携を求めて】

本書「派遣授業学習プログラム集 (Vol. 4)」は、当館と各小中学校との連携をより一層深めていくために「2020 年度版 (Vol. 3)」を改訂したものです。

変化の激しい現代社会にもまれる子どもたちが互いに協力しながら主体的に生きる力・生き抜く力を獲得するための一助として、また、日頃の学習に対する興味・関心を高め、学習指導の充実に寄与したいとの願いのもと、これまでのプログラム内容を見直しながら採択教科書に準拠してまとめた一冊です。

学習指導要領を紐解くまでもなく、社会に開かれた教育課程の実現、魅力的かつ豊かな人間性の育成のためには、「博学連携」の推進はこれまで以上に重要な取組として位置づけられるようになってまいりました。

そこで 2014 年度より、総合博物館である当館が有する多種多様かつ貴重な資料・収蔵品の中から、主に小学校の社会科や理科の授業で活用可能な資料を再検討し、自作の教材・教具等も併せて本冊子の中で紹介することにしました。また、それらの資料を活かした展開概略なども例示し、具体的な学習のイメージがつかめるような構成にしています。その初版から 10 年の時を重ね、今回の改訂により第 4 版。ぜひともご活用いただければ幸いです。

熊本博物館はこれまでも、そしてこれからも、より多くの学校の子どもたちや先生方と対面やオンラインでの授業を通じた交流ができることを楽しみにしています。そして、その交流をきっかけに当館ならではの人材・教材・題材など（ヒト・モノ・コト）を一層身近に感じていただき、よりよい「博学連携事業」が展開できるようにと切に願っています。

なお、本冊子に掲載しました各プログラム内容及び当館におけるその他様々な取組につきましてはホームページでも紹介しています。きっと、「くまはく」の新たな一面を再発見していただけるものと思いますので、何度でも繰り返し検索してみてください (<https://kumamoto-city-museum.jp/>)。

令和 6 年度 (2024 年度)
熊本博物館